

図書館情報学キャリアアッププログラム

図書館情報学キャリアアッププログラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01MB502	学術コミュニケーション論	1	2.0	1・2	秋AB	木7,8		松林 麻実子	学術コミュニケーションとは、研究者たちの集团的営為である研究活動の根本を支える相互のコミュニケーションのシステムとその実践を指す。このシステムは約300年印刷版学術雑誌を中心に運営されてきたが、デジタルメディアの台頭により大転換期を迎えている。本講義では、学術コミュニケーションシステムとその転換を理解し、今後を考える基礎となる知識を概説する。	講義科目
01MB503	デジタルライブラリ	1	2.0	1・2	春AB	土5,6		宇陀 則彦, 高久 雅生	デジタルライブラリの設計、仕様、実装、運用に関して実践的な観点から講義する。主に大学図書館サービスを取り上げ、次世代OPACからディスカバリーサービスに至る最新動向を踏まえながら、デジタルライブラリ構築に関するノウハウを講義する。授業は講義部分を半分程度におさえ、履修者が抱えているデジタルライブラリに関わる問題をお互いに議論することを中心とする。	講義科目 01MB303との重複履修不可
01MB504	デジタルコンテンツ論	1	3.0	1・2	秋ABC	月7,8		宇陀 則彦, 村井 麻衣子, 阪口 哲男	ICTの発達を背景に図書館サービスのデジタルコンテンツ化、著作権に関する近年の話題、Webサービスシステムのセキュリティなどの話題を議論する。	図書館経営管理コース 講義科目
01MB511	情報分析	1	2.0	1・2	春AB	水7,8		辻 慶太, 芳鐘 冬樹	テキストマイニング、データマイニング、ビブリオメトリクスの手法を用いた情報分析の方法について学習する。	講義科目
01MB512	情報活用	1	2.0	1・2	秋AB	水7,8		若林 啓, 手塚 太郎	図書館をはじめとする情報サービスにおいてはデータに基づいて利用者の体験を向上させることが求められる。本授業ではデータ分析に利用される基礎的な統計の考え方やデータマイニングの手法について学ぶ。受講者の知識に合わせて授業を進めるため、数学の知識やプログラミングの経験は必要としない。	講義科目
01MB513	情報表現法	2	2.0	1・2	春AB	木7,8		時井 真紀, 鈴木 伸崇, 松村 敦	XMLを基盤として情報の構造化や可視化に関する演習および必要な講義を行う。情報の構造化については、XMLのスキーマ言語とスキーマ設計、XMLデータの検索・変換について取り上げる。情報の可視化は、数値化と構造化を行った情報を可視化し、利用する技術について取り上げる。	演習科目
01MB521	学校図書館経営	1	2.0	1・2	秋AB	土5,6		平久江 祐司	学校図書館(メディアセンター)における経営、教育指導、人材育成などの諸問題を日本と米国等のコア文献に基づき考察する。指定するコア文献は、年度によって若干の変更はあるが、日本語文献が中心となる。授業は講義だけでなく、指定した文献の中から学生が自由に選択し発表を行う。	講義科目 01MB313との重複履修不可
01MB523	図書館サービス論	1	3.0	1・2	春ABC	金7,8		吉田 右子, 上保 秀夫, 白井 哲哉, 呑海 沙織, 大庭 一郎	公共図書館を中心に各種の図書館情報サービスについて解説し、サービスの意義とその具体的方法を検討するとともに、知識基盤社会における図書館情報サービスの課題と望ましい展開方法について論じる。	図書館経営管理コース 講義科目
01MB524	教育文化政策論	2	1.0	1・2	秋C	金7,8		白井 哲哉	近年の生涯学習社会の進展に伴い、公立図書館に期待される役割は多様化、高度化している。公共図書館サービスを中心とする関連諸活動に関して、教育文化政策という観点から国政・地方行政の政策経験者による制度、政策、財政、意思決定・実現の過程等についての話題提供を行い、これにもとづき議論する。	図書館経営管理コース 演習科目 01MB542の単位修得者は履修できない
01MB532	ドキュメント管理	1	2.0	1・2	秋AB	火7,8		白井 哲哉, パールシェフ エドワルド	この講義では、2011年4月施行の公文書管理法を踏まえた、国・国立大学法人・地方公共団体における公文書の取扱い、管理及び保存利用に関する理論的検討と、現場における諸問題の分析を行う。また、公文書にとどまらず民間所在のアーカイブズや海外の資料や議論にも目を配り、新たな時代の歴史的公文書等の管理のあり方を展望する。	講義科目 01MB305との重複履修不可
01MB543	図書館施設設計論	1	2.0	1・2					図書館の事業・運営計画においてはしばしば、その実施に当たって増築、改築、新築など何らかの建築的な行為を必要とするものが含まれる。また、図書館経営者には、現有施設を定期的に点検し予防保全的な修繕や改修を行うなど、適切に維持管理することが求められる。本科目では、上記のような建築行為に関して、主体的に関与すべき図書館経営管理者に求められる図書館建築に関わる知識について総合的に扱う。	2019年度開講せず。 講義科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01MB544	ライブラリー・ガバナンス論	1	2.0	1・2	春AB	月7,8		池内 淳, 小泉 公乃	ライブラリー・ガバナンスに関わる諸問題を扱う。ガバナンスは「統治」と訳されることが多い。その内容は、関連する諸法規・基準の理解と健全な経営管理を意味する。この科目では図書館および情報センターの経営管理に関わるトピックを中心に講義とケースメソッドを中心に進める。公共図書館と大学図書館それぞれに関わる問題と共通する問題に対して理解を深める。文献・資料・ウェブサイトなどの情報を収集分析し、ライブラリー・ガバナンスを利用者、組織、図書館員等さまざまな視点から「良い図書館とは何か」を議論し、説明を行えるようにする。	図書館経営管理コース 講義科目
01MB545	公共経営論	2	1.0	1・2	春C	月7,8		白井 哲哉	我が国の自治体経営の概要と動向等を踏まえ、政策評価、指定管理者、PFI、市場化テスト、公会計改革などの取組みから、図書館事業と関連がある最近の話題を紹介し、それについて議論を行う。	図書館経営管理コース 演習科目 01MB308, 01MB541の単位 修得者は履修できない
01MB551	LIS研究の最新動向	1	2.0	1・2	春AB	火7,8		逸村 裕, 永森 光晴, 平賀 謙, 綿拔 豊昭, 中山 伸一, 森田 ひろみ, 井上 智雄, 金 尚泰, パールイシエフ, エドワルド, 大庭 一郎	複数の教員が担当し、図書館情報学の広範な領域の研究について、その最新動向をそれぞれの教員の研究内容を交えて概説する。	講義科目
01MB552	研究の手引き	2	2.0	1・2	春AB	土3,4		白井 哲哉, 芳鐘 冬樹, 逸村 裕, 村井 麻衣子, 三波 千穂美	修士論文を中心に、研究論文の構想から調査・実験の方法、研究成果の公表までを解説する。	演習科目
01MB553	調査分析法	2	2.0	1・2	秋AB	土3,4		後藤 嘉宏	社会学のひとつの方法として社会調査法が発達し、その主たる部分がアンケートなどの量的調査である。他方、量的調査への反省の意味も込めて質的調査も発展してきた。本科目ではこれらのうち量的調査の方法を中心に講述し、さらに量的調査の結果に対する統計分析の手法や質的調査についての理解も促す。演習科目ではあるが、領域が広いので講述(講義形式)の部分も大きい。基本的に受講生自身が問題意識をもって仮説を作り、それを調査票に仕上げていく作業をホームワークとして進めて貰い、後半の授業において「質問票(質問文)の発表とそれに対する相互討論」(「授業計画」第7・9回)で各自のホームワークの成果を発表して貰う。さらに「集計・分析の留意点」(第10,11回)では、過去の調査票文案や研究事例を具体的に検討、紹介し、統計分析やコーディングの際の問題点が分かるようにする。本科目を通じて量的調査や質的調査をするための基礎を学ぶ。	演習科目
01MB554	文献講読I	2	2.0	1・2	春ABC	応談		図書館情報メディア専攻指導教員		演習科目
01MB555	文献講読II	2	2.0	1・2	秋ABC	応談		図書館情報メディア専攻指導教員		演習科目
01MB557	特別演習a	2	2.0	2	春ABC	応談		図書館情報メディア専攻指導教員		演習科目 特別演習aとbを併せて履修することで特別演習に相当
01MB558	特別演習b	2	2.0	2	秋ABC	応談		図書館情報メディア専攻指導教員		演習科目 特別演習aとbを併せて履修することで特別演習に相当
01MB559	特別演習a	2	2.0	2	秋ABC	応談		図書館情報メディア専攻指導教員		演習科目 指導教員に指示された学生のみが支援室窓口で履修申請すること
01MB560	特別演習b	2	2.0	2	春ABC	応談		図書館情報メディア専攻指導教員		演習科目 指導教員に指示された学生のみが支援室窓口で履修申請すること